

資料11-3 生物現況補足調査計画(案)

1. 補足調査の目的

港区の生物相や生態系の現状を把握するにあたって、次の視点から不足しているデータを補うことを目的とします。

- 視点① 環境タイプごとの生物の生育生息状況を整理する
- 視点② 保全上重要と考えられる緑地の生物の生息生育状況を整理する
- 視点③ エコロジカルネットワークの状況を把握する

2. 補足調査地点の選定の考え方

補足調査地点は、下表に示した考え方に基づき、適切な地点を選定します。

また、候補地は、生物の生育生息状況を整理するうえで必要なデータが不足しており、かつ立ち入ることが可能な地点とします。

視点	候補地選定の考え方
①環境タイプごとの生物の生育生息状況を整理する	資料11-2で示した、港区における環境タイプのうち、港区に多い環境をもつ地点。 今回は、区民等にとって身近な環境である区立公園のうち、環境の質が最も一般的である地点とします。
②保全上重要と考えられる緑地の生物の生息生育状況を整理する	以下のいずれかに該当する地点 ・一定規模以上の面積がある ・狭くても自然の質が高い ・湧水が自然湧出している（湧水量が10ℓ/min以上）
③エコロジカルネットワークの状況を把握する	エコロジカルネットワークの現状把握に必要な種・種群を対象として適した環境を含む地点

3. 調査対象と回数

視点①及び②に対応する補足調査の対象となる分類群および回数は、下表に示したとおりです。

視点③に対応する調査については、データ整理後に必要に応じて検討します。

分類群	調査回数
植物（維管束植物）	2～4回/年実施 ※ただし、現地の状況等を勘案し、緑地ごとに調査頻度は異なる可能性があります。
蘚苔類・地衣類・担子菌類	
鳥類	
哺乳類・爬虫類・両生類	
昆虫類・クモ類	
土壌動物	
魚類	
底生動物	
水生植物	

4. 候補地の選定

補足調査地点は、既存データの有無によって、次の2つのカテゴリに分類しました。

カテゴリ1：「港区生物現況調査（第2次）」における調査地点であるが、データの不足する分類群がある地点。

カテゴリ2：「港区生物現況調査（第2次）」において調査を実施していない地点。

補足調査の候補地と対象となる分類群の案は、下表に示したとおりです。

カテゴリ	候補地	視点			分類群								
		① 既存データが不足している	② 面積が一定規模以上 狭くても自然の質が高い (湧水量が10ℓ/min以上)	③ 湧水が自然湧出している	植物（維管束植物）	蘚苔類・地衣類・担子菌類	鳥類	哺乳類・爬虫類・両生類	昆虫類・クモ類	土壌動物	魚類	底生動物	水生植物
1	区立有栖川宮記念公園		○		△	△	●	△	△	△	△	△	△
	都立青山霊園		○		△	△	●	△	△		-	-	-
	元麻布三丁目緑地			○	●			△	●				
	区立高輪森の公園			○	△	△	●	△	●		-	-	-
	都立庭園美術館		○		●	●	●	△	●		-	-	-
	区立亀塚公園			○	△	●		△	△		-	-	-
2	高松中学校		○		●	●	●	●	●		-	-	-
	区立港南緑水公園		○		●	●	●	●	●				
	根津美術館		○	○	●	●	●	●	●		●	●	●
	区立高橋是清翁公園			○	●	●	●	●	●				
	区立青山公園	○			●	●	●	●	●		-	-	-
	区立狸穴公園	○			●	●	●	●	●				
区立港南公園	○			●	●	●	●	●		-	-	-	
分類群ごとの候補地点数					9	9	11	7	10	0	1	1	1

△:既存データあり ●:補足調査項目